

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年2組 男9名 女15名

指導者 茂市 祐子

くらべて よもう

中心教材 「じどうしゃくらべ」(光村図書1年下)

〈指導事項〉

◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(読むイ)

◎自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(書くイ)

〈言語活動〉

◎じどう車ずかんをつくる。

1. 教材について

中心教材「じどう車くらべ」について

- ・身近な自動車が教材になっていて、児童の生活経験と結びつけやすい。
- ・ 問い二つに対して答えも二つの段落に分かれており、明確な構成になっている。
- ・「仕事」と「つくり」を関係付けて考えられるように「そのために」を繰り返し用いている。
- ・「仕事」と「つくり」を表に書き抜いて整理することで二つの関係性をいっそうはっきりと整理することができる。
- ・「問い—答え—答え—答え」という列挙型で、以下のような構成になっている。

構成	段落	内 容	
はじめ	①	話題	いろいろな自動車が走っている。
	②	問い1	どんな仕事をしているか。
	③	問い2	どんなつくりになっているか。
な か	④	答え1	バスや乗用車は人を乗せて運ぶ仕事をしている。
	⑤	答え2	座席が広く、大きな窓がたくさんある。
	⑥	答え1	トラックは荷物を運ぶ仕事をしている。
	⑦	答え2	荷台が広く、タイヤがたくさんついている。
	⑧	答え1	クレーン車は重い物をつり上げる仕事をしている。
	⑨	答え2	じょうぶな腕、しっかりした足がついている。

2. 児童について

児童はこれまで、「なぞなぞあそび」で「問い」、「くちばし」で「問い—答え」、「みいつけた」で「問い—答え—答え—答え」の形で構成された文章を学習してきた。

「みいつけた」では、問いに対する答えを教材文から見つけて書き抜く学習を初めて行った。話し合いで読み取ったように思えた児童の中にもかなりの戸惑いが見られた。

質問に答える形で内容を理解することと「書く」ということの間には大きな隔たりがあるのが実態である。

3. 指導にあたって

- 第1次 ・言語活動「自動車図鑑をつくろう」という最終目的を示し、意欲づけを図る。
- 第2次 ・「問い」「答え」の構成を思い出させるために、「みいつけた」を再読する。
 ・一人学びで「しごと」と「つくり」にサイドラインを引かせる。「そのために」という言葉に着目させながら「しごと」と「つくり」を関連づけて読み取らせる。
 ・読み取ったことを既習の自動車と比較しながらワークシートにまとめさせる。
 ・三つの文章を比較して文の順序をつかませ、他の自動車について説明する文章を書くための練習をする。
- 第3次 ・教材文で身につけた力を使って他の自動車についての説明文を書き、自動車図鑑を作る。できるだけたくさんの車の本や図鑑を用意し、意欲を持って取り組めるようにする。

4. 単元の目標

- ・知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。
- ・事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、句読点を使ってつながりのある文を書くことができる。
- ・片仮名で、長音、拗音、促音を表記することができる。

5. 単元の評価規準

- 【関】自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。
- 【読】何と何（「しごと」と「つくり」）が書かれていることを理解している。（1）イ
 文章の中から必要な部分を書き抜いている。（1）エ
 調べるために本を選んで読んでいる。（1）カ
- 【書】教科書のモデル文にならない、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。（1）イ・ウ
- 【言】教科書に提示された片仮名を正しく書いている。（1）ウ・ア

6. 単元指導計画（全 12 時間）

段階	ねらい	時間	主な学習活動	評価規準と評価方法	言語活動
見通す	教材文を読み、単元の見通しをもつことができる。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな自動車があるか話し合う。 ・題名読みをする。 ・教師の範読を聞き、初めて知ったことなどを発表する。 ・読み取りの視点をみつける。 ・自動車図鑑を作る見通しをもつ。（1） 	【関】自動車にはいろいろな種類があることに関心をもち、どのような図鑑を作るか考えようとしている。〈発言・観察〉	自動車図鑑を
深める	教材文を読み、自動車図鑑に載せる説明文の内容・構成を学ぶ。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「みいつけた」を読み、「じどう車くらべ」も同じように「問い」「答え」の構成になっていることを確認する。 <p style="text-align: center;">※ 再読</p>	【読】叙述をもとに自動車には「しごと」と「つくり」があることに気づいている。〈ワークシート〉	

			<p>・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。 (1)</p> <p>・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り、バスや乗用車と比べながらワークシートにまとめる。 (1)</p> <p>・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、バスや乗用車・トラックと比べながらワークシートにまとめる。 (1)</p> <p>・三つの教材文を比較して文の順序をつかみ、他の自動車の説明文を書いてみる。 ※再読・リライト (1) 本時</p> <p>・はしご車の挿絵や図鑑等から、仕事とつくりを考え説明文を書く。 (1)</p>	<p>【読】それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を書きぬいている。 〈ワークシート〉</p> <p>【言】教材文に出てくる片仮名を正しく書いている。 〈ワークシート〉</p>	つ く ろ う
使 う	完成した図鑑を読み合い、学習のまとめをする。	6	<p>・絵本や図鑑を読み、自分で自動車を選んで説明文を書く。 (3)</p> <p>・絵を描いて製本して図鑑をつくる。 (2)</p> <p>・完成した自動車図鑑を友達と交換して読み合い、感想を伝え合う。 (1)</p>	<p>【関】調べるために図鑑や絵本を選び読んでいる。〈観察〉</p> <p>【読】本の中から「しごと」と「つくり」にあたる部分を書き抜いている。〈図鑑〉</p> <p>【書】調べた自動車について「しごと」と「つくり」を「そのために」を使って書いている。 〈図鑑〉</p>	

7. 本時の指導

(1) ねらい

- ・三つの教材文を比べて「しごと」と「つくり」の書かれてある順序をつかむことができる。
- ・教材文に習って他の自動車について「しごと」と「つくり」を書くことができる。

(2)

段階	学習活動・学習内容	支援及び留意点
見 通 す	1. 前時を想起する。 2. 課題を確認する。 <div data-bbox="272 510 643 595" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">どんなじゅんじょでかいて いるかくらべよう。</div>	・前時までの学習を想起し、三つの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取ってきたことを確認する。 ・三つの教材文を「くらべる」ことを確認する。 ・書きかたを知って図鑑づくりにつなげるという目的を明確にする。
深 め る	3. 音読をする。 4. 学習課題を解決する。 ・学習してきた三つの教材文を見ながら、書きかたの順序を比べる。 (再読) ・比べたことをまとめる。 5. 補助資料を読んで説明文を書く。 ・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引いた後、全体で確かめる。 ・説明文を書く。(一人学び) (リライト) 6. 書いた文章をみんなで発表し合って確かめる。 (学び合い)	・書かれてあることの順序に気を付けながら読ませる。 ・学習に使用した教材文の紙板書を三枚並べる。 ・3枚とも「しごと」が先で「つくり」が後に書かれてあり、「そのために」でつながっていることに気付かせる。 ・気づきやすくするために、「しごと」と「つくり」は色分けする。 ・次の一人学びにつなげるために、書く順序を確認してまとめる。 ・サイドラインを引いているか、机間巡視を行う。 ・書けない子には前段階でまとめた書く順序を示し、それにサイドラインを当てはめるよう支援する。 <div data-bbox="799 1339 1378 1715" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">〈評価〉 A 文の中から「しごと」と「つくり」を抜き出し「そのために」を使って関連づけて書いている。 B 文の中から仕事とつくりを抜き出し順序に並べて書いている。 C への支援 書く順序とサイドラインを結びつけて考えさせる。</div>
ま と め る	7. 学習のまとめをする。 ・まとめの音読をする。 ・自己評価をする。 8. 次時の学習の見通しをもつ。	・文の順序を確認するために「しごと」と「つくり」に分けて音読させる。 ・感想を発表させる。 ・次時の学習の予告をする。